

5. 学習活動計画 (全30時間)

段階	配時	学習活動と内容	評価規準	重点指導事項
つかむ	4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">ちいきのひまわり隊について知ろう。</div> ① 1. 「ひまわり隊」で知っていることを出し合う。 ・挨拶運動・校区パトロール ① 2. 調べたいことを話し合い、計画を立てる。 ・活動内容・活動時間 など ② 3. G Tから話を聞いて、追究課題をつくる。	○ 地域にあるひまわり隊にどんな人が関わり、どんな仕事をしているのか 問を持ち調べようとする事ができる。 【主体的・創造的な態度】	G Tとの交流時間を設けて話を聞いたり自分たちで 問をする時間を設けておく。
深める	13	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">ひまわり隊 J r. として○○校区の安全について考えよう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">ひまわり隊のシンボルであるひまわりの花について知ろう。</div> ① 1. ひまわり隊の花について話を聞く。 ・地域の花・人権の花 ② 2. 学校のひまわりの花の種を採る。 ① 3. 種をどうするか話し合う。 ・お世話になった人へ送る。 ・来年自分たちが育てる。 ① <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">安全マップ作りをしよう。</div> ① 1. 計画を立てる。 ・時間配分・地図に書き込む内容 ② 2. 学校周辺を安全を意識して、調査方法を確かめる。 ② 3. 地域を調査するグループに分け、調査する場所の確かめをする。 ④ 4. それぞれのグループで地域の方と調査し、各自でまとめる。 ・危険箇所・わかりにくい標識他	○ 自分たちで作をしたり、調査や交流することで、友達の意見を聞いたり、自分の追究の仕方と友達の仕方を べながら、より追究を深めることができる。 【主体的・創造的な態度】 ○ 追究したことをマップにまとめることで自分の考えを表したり、友達と発表の仕方を整理したりすることができる。 【学び方やものの考え方】	どんなことを探検の地図に記入するか伝え、試しの探検で書き方を示したり感想を出して追究する内容を確認したりする。
広げる	13	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">ひまわり隊 J r. をちいきへ広めよう。</div> ② 1. 発表会の内容を決める。 ・地図を清書・危険箇所を伝える。 ⑤ 2. 発表するための発表練習。 ・声の大きさ・わかりやすさ ・この学習から気づいたことなど ② 3. 他のグループと交流し、付け加えや書き直しをする。 ① 4. 地域の方への招待状を書く。 ② 5. お家の方や地域やひまわり隊の方を招いて発表会をする。 ① 6. 校区の良さや友達の良さを発表する。	○ 自分が学んだことが地域を知ることにつながり自分が学習前と比べて成長したことに気づくことができる。 【自己の生き方】	今までの自分と学習後の自分を振り返ることができるようにこれまでのポートフォリオを活用する。

6. 本時指導案

(1) 単元名「それいけ！ひまわり隊 Jr.」 本時 (9 / 30)

(2) 本時の目標

- 校区内の危険な場所を調べて安全マップを作るために必要な内容や方法を確認し、自分たちで安全を確かめるための探検の大切さに気づく。

【主体的・創造的な態度】

(3) 本時の考え方

めざす子ども

だれもが〇〇校区のどこがどのように危ないのかがわかるように、校区地図に印を入れたり、言葉でなぜ危ないのか書いたりして実際に探検で確かめながら安全マップを作っていきたいと思います。

前時までには子ども達は、校区にあるひまわり隊が、自分たちの安全のために登下校時に見守りをしてくれたり、気持ちのよい挨拶をしてきていることは知っている。また、GTとの出会いからひまわり隊は決められた仕事や時間はないが、自分たちで考えながら活動を増やしたり自分たちのために関わってくれたりしていることを知った。そして、自分たちもその思いを受けて校区の安全に目を向け、できることを探そうという気持ちが高まってきている。しかし、自分たちの校区に安全のために備えられている標識やカーブミラーなどの設備の意味について考えたり、自分たちの視線から見ると危ないと感じる場所について意識したりすることは少ない。

そこで、本時では自分が校区でどんな標識を知っているのかクイズ形式で問わせていく。そのことでどのくらい、日頃目にしているものを意識していないか確認させたい。また、標識については、知らないことや曖昧なところをプリントで調べさせる。それぞれの意味を明らかにさせることで、標識がその場所にあるわけを友達同士で交流させ、探検前に自分たちの校区の安全について考えさせていく。また、標識だけでなく子ども達にとって危険と思われる要素がいくつか考えられる。(例えば車が多いや夜になると暗くて不安など) それらの例を子ども達から出させていきながら、なぜ危険なのかそのわけを記してそのマップを読むことで誰もが安全に気をつけようと思うものになるよう考えさせたい。そして、全体や友達同士の校区の安全について交流することで、無意識に通学してにしていた道や地域に対し目を向けさせながら探検で確かめたいという意欲を高めていきたい。

(4) 板書計画

<p>めあて</p> <p>安全マップ作りのたんけん計画を立てよう。</p>	<p>標識ののったプリント 拡大</p>
<p>たんけんまでの計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 何をマップにするのか。 2. たんけんリハーサル（学校の周り） 3. マップの交流とグループ決め 4. たんけん本番 5. マップ作り 	<p>地図</p> <p>マップ作りで書くことやたんけんで調べること</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 危ないところは地図に ○ なぜ危ないのかそのわけ ・ 道がせまい。

5) 展開

学習活動と内容	評価規準	重点指導項
<ol style="list-style-type: none"> 1. 前時を りかえり，本時のめあてを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ひまわり隊と出会って考えたこと ・ 人に伝える安全マップ作り <p>めあて</p> <p>安全マップ作りのたんけん計画を立てよう。</p> 2. 安全のための設 について確かめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 標識の意味クイズをし，知らないことは資料で調べる。 ・ 標識の場所を地図で示し，どんな様子か予想を立てる。 3. 安全マップ作りの内容を話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 提示したところがなぜ危険と思うのか交流し，疑問や調査内容を決める。 ・ 探検マップの書き方の案を示し，探検マップのイメージを持たせる。 4. 本時の学習を振り返る。 	<p>○ 自分たちが安全に対してあまり意識していないことに気づき，だれにでも安全を意識できるような追究の視点を持つことができる。</p>	<p>○ いつも通っている通学路で危険と感じるところを調べ活動し，地域の人や友達に知らせていくことを意識させる。</p> <p>○ 交流を通して，追究内容を意識させたり，モデルを提示したりしながら，次からの活動の準備や追究意識を高めさせる。</p>